

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年3月24日

【評価実施概要】

事業所番号	195000096
法人名	株式会社 ティ・アイ
事業所名	グループホーム はな おけと
所在地	常呂郡置戸町字置戸22-1 (電話) 0157-67-5587

評価機関名	(有) NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成20年3月17日

【情報提供票より】(20年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	17 人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.4 人

(2) 建物概要

建物構造	薄板軽量型造り		
	2階建ての	1階	～ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	14,000～17,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	10 名	男性	1 名	女性	9 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名		
要介護3	1 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	75 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	置戸赤十字病院・置戸歯科診療所
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームはなおけとは、置戸町市街地より東側の位置にあり、西側には協力病院である置戸日赤病院、南側には地域福祉センター、北側は1年を通して四季を感じられる山があり静かな場所に建っています。建物は洋風タイル柄の2階建、大きな窓から陽が入る明るい2ユニットになっており南側に花壇と、菜園があり、利用者の生活暦を生かし芋・とうもろこし・大根・南瓜等の野菜を栽培して収穫までの工程を若い職員達と学んだり共に支え合う良い関係を築いています。居室は8帖の中に収納とデスクが備えられており使い慣れたイスやテレビなどを持込んで居心地の良い空間になっています。理念に明るく・楽しく・住みやすいケアを掲げ、管理者及び全職員が取り組んでいます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	初回の為取り組みや改善項目はありません。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価への取組みは、職員に評価表を配付して取組み、全体ミーティング時に話し合い管理者が取りまとめ、また利用者及び家族の意見・要望を謙虚に聞き検討して、支援の充実や情報の共有、行政と近隣住民の方々との理解と協力を得られるホーム作りを目指しています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	地域の理解と支援を得る取組みとしての運営推進会議は、家族会代表・自治会役員・地域福祉センター担当者・民生委員・ボランティアの会・施設長・管理者で構成され、認知症グループホームの意義や活動報告をしています。7月に第1回実施されていますが、議事録は作成されてなく6ヵ月毎の開催としています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会は開設時に発足されエレベーターホールに意見箱を設置していますが利用はされておらず、家族が面会時に利用者の日々の様子を伝えたり受診後の結果を連絡したり、家族の意見要望苦情等を謙虚に聞かれる体制が出来ています。また利用者の行事での写真を載せたホーム発行の「日陽りだより」を手渡ししています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	町内会に加入し祭りや行事にも参加しています。近所の方からの差入れや利用者への訪問もあり、散歩の時など挨拶を交わして、地域に溶け込んでいます。またホーム内で寿司職人に来てもらい生寿司を提供したり、幼稚園児のヨサコイ踊り等、ボランティアの来訪もあります。

(有)NAVIRE

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時に、管理者及び職員が話し合い、明るく・楽しく・住みやすくという独自の理念を立ち上げ利用者本意のグループホームを目指しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は常に理念を意識して利用者に支援をする事を心掛けており、月1回のミーティングでも理念を振り返り取り組んでいます。エレベーターホール横に掲示しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し自治会活動に参加し、散歩では会話や挨拶を取り交わした、夏祭り・敬老会等に参加をしています。施設長・管理者は地域のボランティアの会に在籍して積極的に参加しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	初めての自己評価については、職員全員に自己評価表を渡し検討した後に、全体会議で管理者と共に取りまとめています。家族に対してホーム独自にアンケートを配布回収して自己評価に取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	7月に第1回の会議を開催、運営推進会議のメンバーに、置戸町担当者・町内会代表・民生委員・社会福祉協議会・地域ボランティアの会・家族会代表・施設長・管理者・職員で構成されており、ホームでの報告と意義及び意見等を話し合っています。	○	運営推進会議の開催を2ヶ月に1回を目標にする事と、他のグループホーム管理者も出席してもらい今後の運営会議への参考意見要望を出してもらいながら意義と継続性のある会議を望みます。議事録を作成してメンバーや家族全員に配付する事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	置戸町や地域福祉センター・消防署と連携を取っています。町特別養護老人ホームや養護老人ホームとは、情報交換を密にしています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が面会時に利用者の日常の様子を報告をしています。また電話で通院結果や日常の様子をその都度報告しています。不定期に発行している「日陽りだより」で利用者毎の様子や職員紹介、行事の写真を載せ面会時に手渡ししています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	共用玄関に意見箱を設置していますが利用はされておらず、面会時に相談や苦情を言える関係が築かれ、ある場合は改善する取り組みが来ています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	1F・2Fの職員の異動は開設当初は入れ替わる事はありませんでしたが、全職員は利用者馴染んでもらえる関係を築いています。離職者が出た場合は、補充する対応が来ています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	正社員・パート社員含め外部研修への参加を目標にしており、希望する研修があれば参加出来るよう配慮しています。他のグループホームへの訪問研修の実施と全体ミーティング時に報告をしています。また資格取得に支援をしています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市外のグループホームへ見学と勉強を兼ねての研修を交互に実施しており、職員同士のスキルアップの取り組みを行なっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	1回だけでなく複数回に渡って、ホーム見学や家族への説明と聞き取り、利用者が馴染めるよう配慮し工夫をしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から花の手入れ方法や料理を教えてもらったり、野菜の種まきと収穫時期など学んだり支えあう関係が築かれています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	おやつや食事・入浴・レクリエーション・散歩や買物など外出の希望があれば取り入れて生活が出来る様支援をしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族と共に利用者の現在の状況を伝え、介護計画作成者が中心となって職員全体の意見をまとめ機能の維持向上を心掛けて家族の承諾を得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに介護計画を見直ししており、その都度状況に変化があった場合は、迅速に検討し対応をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院への通院介助や送迎支援をしています。散歩や買物などの外出支援も行っています。ドライブに出掛ける利用者もいて支援をしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	職員の中に看護師がおり、利用者の健康状態を把握しています。近所にかかりつけ医がいる協力病院があり、急変があった場合など密な連携を取っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期の対応に向けて準備検討段階にあります。	○	今後家族・かかりつけ医・管理者が、話し合いを持ち情報の共有に努める事を望みます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のケア記録の記入は、プライバシーに配慮しながら台所内で行い利用者を見守りながら行なっています。言葉掛けや見守りにも注意を払っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の人数によっては、希望に添えない場面もありますが、利用者の気持ちを尊重し、生活リズムに合わせて柔軟な対応を取る様心掛けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	専属調理人を配置して食事を提供し、メニューは職員によって決めています。献立にも利用者のリクエストを聞いて取り入れた食事を作る工夫や、調理の下準備・配膳・後片付けまで役割をもって支援をしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、決めています但し利用者の希望に沿って入浴曜日・時間を決めてはならず、健康状態やタイミングに合わせた入浴を支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理の下準備・食事の配膳・後片付けや掃除・洗濯物のタタミなどの家事から歌を歌う、畑仕事や花の世話まで出来る事の支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物などの外出支援と菜園づくりや草取りを行なっています。バス旅行の支援やドライブへ行きたい利用者には希望を叶える支援をしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間だけ玄関に施錠していますが、それ以外は自由に入出できます。居間や玄関を見渡せる位置に事務室があり、居室には鍵を付けない支援をしています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常持ち出し物品などマニュアル化されており避難訓練及び消火訓練を年1回実施しています。	○	避難訓練は夏季と冬季、日中と夜間の避難が想定される為、年2回の実施と、地域住民にも避難時には協力してもらえる様消火訓練にも参加してもらい、より良い関係を築く事を望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事量や水分摂取量はケアファイルに記録し共有しています。一人ひとりの状況に応じ食べやすい大きさや硬さに注意して支援をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間の窓は南面前面に大きく取りカーテンで光の量を調節したり、暖房にパネルヒーターを取り入れ安全に配慮しています。廊下に行事での写真を飾り季節感を取り入れています。居間とは別にタタミを敷いた和室を設け視線を遮る場所もあり配慮されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	8帖の大きさの部屋に今まで使っていた家具や写真・鉢花等を持ち込んで変わらない生活空間を作り出しています。		